

JMSIIホート研究に約1,000名の方に参加していただきました

自治医科大学多地域研究ネットワーク推進事業

JMSIIコホート研究に

引き続き参加協力をお願いします



近頃、地域医療のことが何かと話題になることが多く、地域医療に従事する医師を育てる大学としてますます責任の大きさを痛感しております。

健康なうちにデータを取って、何年も追跡調査をし、病気になった人とならなかつた人との間での違いを検討する方法をコホート研究と呼びます。

今回、その事業を引き継ぎ、平成21年度より「自治医科大学多地域研究ネットワーク推進事業」が開始され、その中で第2弾としてJMSIIコホート研究を行うことになりました。

JMSIIコホート研究は、健康状態を把握し、その後の脳卒中や心筋梗塞の発症などについて10年間追跡調査を行う研究で、全国の市町村によびかけて約10,000人の参加者を募る予定です。

健康で長生きをすることは万人の願いです。生活習慣によって起こる高血圧、糖尿病、メタボリックシンドロームなどの病気は、たとえ症状がなくても脳卒中や心筋梗塞といった病気の危険因子となるとされています。

食生活や運動不足などが生活習慣病の原因となりますが、それ以外にも喫煙、飲酒、ストレスや睡眠不足など多くの生活習慣が関係していると考えられています。

自治医科大学では、全国で卒業生が活躍しており、そのネットワークを生かして、平成4年度から17年度まで前身であるJMSコホート研究を行い、血圧の上昇やストレスなどが脳卒中や心筋梗塞の危険因子であることなどを報告しています。

さらに、平成15年度から5年間にわたって21世紀COEプログラム大規模地域ゲノムバンク推進事業を行いました。

今回、その事業を引き継ぎ、平成21年度より「自治医科大学多地域研究ネットワーク推進事業」が開始され、その中で第2弾としてJMSIIコホート研究を行うことになりました。

JMSIIコホート研究は、健康状態を把握し、その後の脳卒中や心筋梗塞の発症などについて10年間追跡調査を行う研究で、全国の市町村によびかけて約10,000人の参加者を募る予定です。

自治医科大学では、全国で卒業生が活躍しており、そのネットワークを生かして、平成4年度から17年度まで前身であるJMSコホート研究を行い、血圧の上昇やストレスなどが脳卒中や心筋梗塞の危険因子であることなどを報告しています。

さらに、平成15年度から5年間にわたって21世紀COEプログラム大規模地域ゲノムバンク推進事業を行いました。

「JUNOの健康相談」開催のお知らせ

ストレス社会と言われる現代社会では、「こころの健康」が大きな社会問題としてクローズアップされています。「眠れない、食欲が落ちた、体や頭が重い」など、誰にも相談できずにつらい思いをしている方はいませんか？

市では、精神科医が対応する「こころの健康相談」を実施します。相談することで、今のつらさが少しでも軽くなればと思います。ぜひ、ご利用ください。

■日程

9月3日、11月26日  
午後2時～4時

■場所

保健福祉センターきらら館

■相談員 精神科医

■料金 無料

※予約制となりますので、相談日の一週間前までにご連絡をお願いします。

※相談日以外でも随時保健師が相談をお受けします。

■申し込み・問い合わせ先

健康増進課 ☎(52)1116

■研究事務局

自治医科大学地域医療学センター 教授 石川鎮清

〒329-0498

下野市薬師寺3311-1

☎(58)7394

(公衆衛生学部門教授)

中村好一

自治医科大学地域医療学センター事業責任者